

## 第103春季年会(2023)のお知らせ:各種募集概要

第103春季年会実行委員会

4年ぶりの現地開催となる第103春季年会に向け、講演、出展、広告の募集概要についてご案内します。会員の皆様と現地でお会いできることを楽しみにしております。なお、本稿執筆時点では、現地開催に向けて準備を進めておりますが、COVID-19感染状況により開催方式の変更の可能性もございます。最新情報は春季年会のウェブサイトにて随時公開していきますので、そちらも併せてご覧下さい。

- 主催** 公益社団法人日本化学会  
**共催** 東京理科大学  
**会期** 2023年3月22日(水)~25日(土)  
**開催方式** 東京理科大学 野田キャンパス  
 ※今後のCOVID-19感染状況によりオンライン方式に変更の可能性あり
- 実行委員長** 井手本 康 (東京理科大学 副学長・教授)
- 重要な日程** 講演申込期間 2022年11月1日~2022年11月30日  
 予稿原稿提出期間 2022年12月5日~2023年1月11日  
 参加登録期間 (早期申込) 2022年11月1日~2023年2月末  
 (直前申込) 2023年3月初旬~会期最終日  
 プログラム公開日 2023年1月16日(予定)  
 講演予稿集発行日 2023年3月8日(予定)
- 問合せ先** 日本化学会 企画部 年会係  
 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5  
 URL: <https://confit.atlas.jp/guide/event/cs103rd/top>

第103春季年会における留意点は以下のとおりです。

- 第101春季年会より適用された『年会改革』に伴い、講演者の条件、講演賞、申込分類が変更となっております。講演申込の際には募集要項を十分にご確認下さい。
- 参加登録費の区分が変更になっておりますのでご注意下さい。

### 1 講演申込概要

講演申込の概要は以下の予定です。詳細は春季年会ウェブサイト掲載の募集要項をご覧ください。

[注意事項]

- 理由の如何にかかわらず、講演の申込期間の締切日を過ぎたのちの講演申込および申込内容の変更は一切認めません。
- 第101春季年会から、講演申込フォームが従来のシステムから刷新されています。申し込みは十分な時間の余裕をもって行って下さい。なお、締切間際の問合せには対応できない状況が想定されます。

#### 1.1 期間

2022年11月1日~11月30日

#### 1.2 申込方法

春季年会ウェブサイトよりお申込み下さい。

#### 1.3 講演内容と講演者の条件

講演内容は未発表のものに限ります。講演申込は日本化学会の個人会員に限り、1件までとし、申し込みをした本人が講演を行って下さい。なお、口頭B講演の発表資格が撤廃され、どなたでもお申込みが可能です。

#### 1.4 形式および講演時間

形式	内容
口頭A講演	10分(講演7分・討論2分・交代1分)
口頭B講演	20分(講演15分・討論4分・交代1分)
ポスター	45分

#### 1.5 発表言語

英語もしくは日本語とします。プレゼンテーション時に使用するスライドやポスターデータは英語での作成を強く推奨いたします。なお、発表言語に「英語」を選択した場合は、すべて英語で作成して下さい。

#### 1.6 講演申込分類

本年会では次の23部門で発表を募集します。申込時には部門および編成仕分け用のカテゴリを選択する必要があります。編成仕分け用のカテゴリについてはウェブサイトにてご確認ください。

01 化学教育・化学史/02 理論化学・情報化学・計算化学/03 物理化学—構造/04 物理化学—物性/05 物理化学—反応/06 分析化学/07 無機化学/08 触媒/09 錯体化学・有機金属化学/10 有機化学—有機金属化合物/11 有機化学—構造有機化学/12 有機化学—有機結晶・超分

子化学／13 有機化学—反応機構・光化学・電気化学／14 有機化学—芳香族・複素環・ヘテロ原子化合物／15 有機化学—脂肪族・脂環式化合物, 新反応技術／16 天然物化学・ケミカルバイオロジー／17 生体機能関連化学・バイオテクノロジー／18 高分子／19 コロイド・界面化学／20 材料化学—基礎と応用／21 エネルギーとその関連化学, 地球・宇宙化学／22 資源利用化学・環境・グリーンケミストリー／23 CIP ポスター

### 1.7 各種講演賞

本年会では「学生講演賞」・「優秀講演賞（産業）」を設け、優れた講演を顕彰します。各講演賞の対象者・発表形式・対象部門等は下表のとおりです。講演申込時に審査希望の旨、該当欄にチェックを入れて下さい。優秀講演賞（詳細）については、本誌 765 ページに産学交流委員会からのご案内がございますのでそちらも併せてご参照下さい。

項目	学生講演賞	優秀講演賞（産業）
対象者	博士後期課程の学生会員であり、かつ、過去に本賞を受賞していない者	2023年4月1日時点で満40歳に達していない正会員および学生会員
発表形式	□頭 B 講演	ポスター
発表言語	英語	日本語 または 英語
対象部門	全部門	部門23：CIPポスター
授与委員会	年会実行委員会	産学交流委員会

### 1.8 発表機材

□頭] すべての会場に Windows PC 1 台および持ち込み PC 用の HDMI ケーブルを準備します。講演者は発表用資料を USB メモリ（ウイルスのチェックおよび OS 互換性に関してチェック済みであること）を持参し、会場 PC に挿して発表して下さい。または自身の PC を使用する場合には HDMI ケーブルを接続して発表して下さい。会場 PC の OS 等詳細は春季年会ウェブサイトに掲載します。

[ポスター] ポスターボード（縦 210 cm×横 90 cm〔予定〕）と画鋏を用意します。ポスターセッションの時間は 90 分（ポスター番号により前半 45 分、後半 45 分が発表時間となります。）です。セッション前後の指定時間に貼り付け、剥がして下さい。

## 2 講演予稿原稿

### 2.1 提出期間

2022 年 12 月 5 日～2023 年 1 月 11 日

※提出期間の最終日を過ぎた時点で予稿原稿未提出の場合、講演申込が中止されたものとみなされます。

### 2.2 作成方法

春季年会ウェブサイト上の、「予稿原稿作成要項」にそって PDF ファイルで作成して下さい。春季年会ウェブサイトにおいてテンプレート（雛型）を配布しています。

### 2.3 表記言語

英語版および日本語／英語併記版のテンプレートを用意しています。発表言語が英語の場合には英語版での作成を推奨します。なお、日本語のみでの作成はお控え下さい。

## 3 講演予稿集

### 3.1 発行日

2023 年 3 月 8 日（予定）

### 3.2 発行形式

形式	内容
Web	参加登録した方が春季年会ウェブサイトにて閲覧およびダウンロード可能です。なお、会期が終了して 3 ヶ月ののち、年会参加者以外による閲覧を可能とします。

※講演予稿集の DVD, USB, 冊子体の各媒体は廃止されました。

## 4 参加登録概要

参加登録の概要は以下の予定です。講演申込者・講演者（登壇者）・連名者（共著者）の如何にかかわらず本年会に参加される方は、全員参加登録が必要です。詳細は春季年会ウェブサイト掲載の募集要項をご覧ください。

### 4.1 期間

（早期参加申込）2022 年 11 月 1 日～2023 年 2 月末  
（直前参加申込）2023 年 3 月初旬～会期最終日

### 4.2 登録方法

春季年会ウェブサイト上の参加登録フォームよりお申し込みの上、期日内に参加登録費をお支払い下さい。

### 4.3 参加登録費

参加登録費および支払い方法は下表のとおりです。

参加区分	参加登録費 (早期申込)	参加登録費 (直前申込)	課税区分
一般*1	15,000	18,000	不課税 ※税の適用の対象外
シニア/教育*2	10,000	12,000	
学生*3	5,000	6,000	
中高生（聴講）	無料	無料	課税 ※左記の金額は税込
非会員	27,000	32,000	

※1 個人正会員および法人正会員に登録している機関に所属の方。

※2 シニア会員、永年会員、終身会員、教育会員の方

※3 学生会員、教育学生会員、ジュニア会員、中高生会員（登壇）、非会員学生の方

### 4.4 支払い方法

支払い方法は下表のとおりです。支払い完了後、参加登録フォーム内にて領収書を発行します。領収書の発行は PDF 形式のみです。なお、請求書の発行はありません。

参加申込時期	支払い方法
早期参加申込	銀行振込、クレジットカード払い
直前参加申込	クレジットカード払い

## 5 付設展示会出展募集概要

詳細は春季年会ウェブサイト掲載の募集要項をご覧ください。

## 5.1 概要

**会期** 2023年3月22日～24日（3日間）

**会場** 東京理科大学 野田キャンパス 森戸体育館

### 出展の対象

汎用科学機器・装置／汎用器具・消耗品／分析機器・装置／物理量・物理測定装置／試験機器・装置／実験室設備／試薬類／情報処理技術／書籍／環境関連機器・装置／CD-ROM／インターネット関連／安全性試験受託・分析リサーチ／耐震・防災・保護・避難／PRTR 対策技術／CCS 関連ソフト（分子設計支援システム／ポリマー設計支援システム／材料設計支援システム／タンパク工学支援システム／遺伝子工学支援システム／分子構造決定支援システム／合成設計支援システム／データベースシステム／計算化学プログラム／ラボラトリーオートメーション）／コンビナトリアルケミストリー／ナノテクノロジー関連／バイオテクノロジー関連

## 5.2 お問い合わせ先

（株）化学工業日報社 企画局 担当：松枝

電話 (03) 3663-7936 FAX (03) 3663-7861

E-mail: s\_matsueda@chemicaldaily.co.jp

## 6 広告募集概要

下記内容にて春季年会の広告を募集します。詳細は春季年会ウェブサイト掲載の募集要項をご覧ください。

### 6.1 募集広告一覧

媒体名	掲載場所等
ウェブサイト・バナー	103 春季年会ウェブサイトのバナー広告掲載。申込随時掲載予定。
年会アプリ・バナー	103 春季年会アプリのトップページへのバナー広告掲載。限定3社
年会アプリ・スプラッシュ広告	103 春季年会アプリ起動時に表示される広告。限定1社

### 6.2 お問い合わせ先

（株）化学工業日報社 企画局 担当：松枝

電話 (03) 3663-7936 FAX (03) 3663-7861

E-mail: s\_matsueda@chemicaldaily.co.jp

（株）明報社 担当：後藤

電話 (03) 3546-1337 FAX (03) 3546-6306

E-mail: goto@meihosha.co.jp

## 第 103 春季年会(2023)「優秀講演賞 (産業)」 “CSJ Presentation Award 2023 for Industries”のご案内

産学交流委員会 委員長 福田 伸

日本化学会産学交流委員会では、平成20年度から「優秀講演賞 (産業)」の表彰を行っています。来る2023年3月22日(水)～25日(土)、東京理科大学 野田キャンパスにて開催される標記年会においては、下記要領で審査・選考を行い、優れたポスター講演者に対して「優秀講演賞 (産業)」を授与します。

「CIP ポスター ～シーズとニーズのマッチングの場～」では、明確な応用を目指した研究はもちろんのこと、何かの応用展開の可能性がありえそうといったフェーズの基礎研究も産業界目線でのアドバイスがもらえる機会ですので、産学官の研究者および学生からのポスター発表を期待しています。また、これまでに発表された基礎的な研究内容においても、応用展開に言及した新たな内容のポスター発表も大歓迎です。

このCIPポスターに対して企業の審査委員が講演者と質疑応答を行い産業界の視点で審査します。これまでのP1～P5の審査分野に加え、従来の審査分野には該当しない分野でも応募できるようにP6 ハイライト分野を委員会を選定しています。今年度は「P6. 生体関連化学」と設定しました。生体に関連する新たな生化学や分析化学など、生体関連化学に関する講演の応募をお待ちしております。生体分子や生体機能模倣分子、機能性分子、天然物化学、ケミカルバイオロジー、バイオベースポリマーなど、生体に少しでも関連する研究はすべて応募可能です。奮って応募下さい。

### 選考対象者：

2023年4月1日時点で満40歳に達していない正会員および学生会員で、講演申込時に審査希望を申請した者。過去の受賞経験者は、研究内容がまったく異なる場合、あるいは研究開発ステージが上がるなど研究の進捗が顕著な場合に限り対象とします。

### 審査対象：

「CIP ポスター ～シーズとニーズのマッチングの場～」

### 審査分野：

下記P1～P6の6つの産業適用分野を審査分野とします。講演申込時に審査分野を明記して、審査希望を申請して下さい。

P1. エネルギー（例：太陽電池、蓄電池、水素エネルギー、熱電素子、省エネルギープロセス、等々）

P2. 資源・環境・GSC (Green Sustainable Chemistry)（例：カーボンニュートラル、元素戦略、リサイクル、人工光合成、水処理、マイクロプラスチック対策、炭素資源、化学プロセス、触媒、等々）

P3. 新素材（例：自動車素材、航空用素材、建築素材、構造材、包装材、繊維、等々）

P4. 通信・エレクトロニクス (例; プリンテッドエレクトロニクス, 有機エレクトロニクス, 等々)

P5. 医療・ヘルスケア・バイオテクノロジー (例; 創薬, 診断薬, 人工臓器, 再生医療, バイオ品種改良, 農薬, 肥料, 化粧品, 等々)

P6. 本年度のハイライト分野「生体関連化学」(例; 生体分子, 生体機能模倣分子, 機能性分子, 天然物化学, ケミカルバイオロジー, バイオベースポリマー, 等々)

**発表言語:**

日本語または英語

**選考方法:**

産学交流委員会関連の企業委員, 日本化学会フェローなどの他, 委員より推薦され委嘱された企業審査委員が選考基準に基づいて審査し, 会期後に CIP 企画小委員会で選考を行い, 産学交流委員会で決定します。

**選考基準:**

産業に対する寄与が期待される基礎的または応用的な概念, アイディア, 実験手法, 実験結果などについての発表であり, 講演者の研究に対する主体性や貢献度が優れ, かつ今後の研究活動の一層の発展の可能性を有すると期待されるもの。

**授与件数:**

概ね 20 件に 1 件の割合で授与します。

**賞状の授与:**

日本化学会会長名の賞状を授与します。年会終了後, 日本化学会から所属長を経由して本人に賞状を送付し, 後日, 「化学と工業」誌に氏名, 所属, 演題などを掲載します。

## 第 17 回 PCCP Prize 受賞候補者の募集について

日本化学会運営会議

Royal Society of Chemistry (RSC; 英国王立化学会) が発行する学術誌 PCCP (Physical Chemistry Chemical Physics) ならびに Faraday Discussion では “PCCP Prize” を設けており, RSC の協力依頼に応じ本会理事会承認の下, 2007 年から毎年, 数名の受賞候補者の公募を行っております。本年度も受賞候補者を募集いたしますので, 奮ってご応募, ご推薦願います。なお, 本賞の選考対象・応募資格・応募方法などは下記のとおりです。

**■名称:**

PCCP Prize

**■授賞機関:**

Royal Society of Chemistry

PCCP (Physical Chemistry Chemical Physics) and Faraday Discussion

**■選考対象・選考基準:**

本会会員 (ディビジョン登録者) で, 物理化学, 光化学, 理論化学, 無機化学, 錯体化学・有機金属化学, 高分子化学, 触媒化学, 分析化学, 電気化学, コロイド・界面化学, ナノテク・材料, など PCCP がカバーする領域で傑出した研究成果があり, 将来の活躍が期待される若手研究者 (受賞年 2023 年 4 月 1 日時点で満 35 歳未満の方) で, かつその成果の一部を自身が日本化学会第 103 春季年会で発表する者 (口頭 B 講演および各種受賞・招待講演; 口頭 A 講演は除外)。なお, 日本化学会進歩賞との同時受賞はできません。

**■応募・選考方法:**

※応募 (自薦, 他薦):

本会ウェブサイトから①所定の用紙をダウンロードし, 所定事項を記入の上, ②論文リストおよび③最近 (なるべく過去 3 年以内) 掲載された論文別刷り 1 報 (※PDF などの電子版が望ましい), を添付の上, 登録ディビジョン宛てにお申し込み下さい。

※ディビジョン推薦:

ディビジョン主査は, 当該ディビジョンに応募のあった候補者が複数名の場合には順位をつけた上で, 受領した応募書類のすべてを日本化学会内 [PCCP Prize 選考委員会] 宛てに転送し推薦を行う。[PCCP Prize 選考委員会] はディビジョン主査から推薦のあった候補者の業績内容を審議し, 3 名程度の受賞者を選定する。受賞候補者は日本化学会理事会に報告し, 承認を得る。

**■授賞の内容:**

PCCP (Physical Chemistry Chemical Physics) から賞状 (PCCP Prize Certificate for Outstanding Achievement of Young Scientists in Physical Chemistry and Chemical Physics) を授与。

賞状, 賞金および副賞 (記念誌: 100 Year of Physical Chemistry, Royal Society of Chemistry) が贈呈されます。また後日, 会誌「化学と工業」および本会ウェブサイトならびに RSC サイトにおいて受賞者氏名, 所属, 受賞題名を公表されるとともに, RSC ジャーナルへの論文投稿の依頼がございます。